

PSIA 北海道公安調査局

PUBLIC SECURITY INTELLIGENCE AGENCY

情報の力で、国民を守る。

業務紹介

公安調査庁って何するの？

公安調査庁の最大のミッションは、我が国の公共の安全の確保。2つの法律（「破壊活動防止法」・「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」）に基づいて、暴力で政治的な目的を達成しようとする危険性のある団体の調査、規制請求等を行っています。また、その過程で収集した情報を分析し、その結果（**インテリジェンス**）を官邸を含む政府関係機関に提供することにより、政府の危機管理・外交・安全保障等の重要施策の推進に貢献しています。

仕事の魅力

「人間力」が最大の武器になる。

情報収集の現場で活躍する公安調査官。調査官一人ひとりが、高度な情報の入手を目指し、柔軟な発想で創意工夫しながら相手にアプローチします。情報を持つ相手と根気強く面談を重ね、「あなたのためなら」と情報提供を受ける関係を築くことが求められます。そこで必要とされるのはこれまでの人生で培ってきた「**人間力**」。自身の**個性・経験・知識・趣味**などを最大限活かして、忍耐強く相手と向き合っていくことが重要となります。また、多様な背景を持つ相手から有益な情報を入手するためには、多様なタイプの調査官が必要となります。言い換えれば、どのようなタイプの調査官であっても、必ず活躍できる場所があるのです。

処遇

「情報収集・情報分析」のプロ

全ての調査官が経験する情報収集。「**情報収集のプロ**」として育成・処遇される一般職職員は、原則として採用された公安調査局とその管内に所在する事務所に勤務します。上司や先輩に同行して情報収集の「イロハ」を学び、多様な経験を積むことで、自らのスタイルの確立を目指します。また、幅広い知識と経験を積むため、本庁、その他の公安調査局や事務所、他省庁で勤務する場合もあるほか、能力・適性に応じて「**情報分析のプロ**」として育成・処遇される場合もあります。情報分析官は、全国の調査官が収集した情報・資料を多角的に分析・評価します。論理的・客観的な思考力だけでなく、わずかな変化を見逃さない洞察力、政策決定者に一瞬で情報の要点を伝える表現力など、全ての能力を総動員することが求められます。

キャリアパス

北海道公安調査局 上席調査官（係長級） 平成16年入庁 国家Ⅱ種（行政・北海道）

北海道
公安調査局
公安調査官

H16

北海道
公安調査局
主任調査官

H22

北海道
公安調査局
上席調査官

H26

公安調査庁
（本庁）
上席調査官

H27

内閣官房
上席調査官

H30

北海道
公安調査局
上席調査官

R2

～先輩からのメッセージ～

当庁の業務は幅広く、現場での情報収集だけでなく本庁での分析業務や他省庁へ出向して業務を行うこともあります。また、語学研修をはじめ、各分野の専門知識を習得するための機会もあり、本人が希望すれば様々な経験をすることができるとも刺激的な職場だと思います。私も実際に北海道局で採用後、本庁での分析業務や他省庁への出向も経験して視野が広がったと感じています。一緒に働くことを楽しみにしています。

国家公務員採用一般職試験
大卒程度（行政・技術（デジタル・電気・電子））

北海道公安調査局総務部採用担当
TEL：011-261-9801

PSIA 公安調査庁
PUBLIC SECURITY INTELLIGENCE AGENCY

